

# 基地撤去をめざす 県央共闘

\* ↑タイトル・題字募集中

NO. 10

2009.4.21

発行：原子力空母の母港化に反対し

基地のない神奈川をめざす県央共闘会議

〒242-0028 大和市桜森 3-5-3 7号1F

事務局連絡先 090-7402-5245

編集責任者 檜鼻達実

## 街が変わる！蘇える軍事拠点！相模総合補給廠

イラク兵の捕虜虐待が暴露され、イラク市民の大量殺戮や5千人を超える米兵の死者、そして、泥沼化するイラク戦争の終息が見えてこないことで、ブッシュ政権からその責任をとらされた前国防長官ラムズフェルド。彼が03年、対テロ戦争に備えるため世界規模での米軍見直し（GPR）を表明し、在日米軍再編に着手した。イラク戦争をどの国よりも早く支持し、自衛隊を戦場に派兵した小泉首相。シーファー前駐日大使いわく「ブッシュ政権時代の日米関係は黄金時代だった。」（日経1月10日）の日米同盟の基で、米軍に

連動し、その任務と役割に合意した日本政府。米軍再編は日本の安保政策を大きく転換させるものであった。周辺事態法の成立によって地理的概念の障壁が崩れ、テロ特措法によってインド洋では海自による給油活動、イラク特措法ではイラク戦場に空陸自衛隊が派兵された。防衛省に求められた米軍の前方展開の一翼を担う連携能力の向上と役割。防衛省は、米軍との共同演習のみならず、共同対処をいかに進めていくかが迫られた。（P2へ続く）



4月2日、密かに且つ意図的に流布された「戦闘指揮訓練センター」(BCTC・以下訓練センター)の建設工事着工。建造物は事務棟とL字型の本棟(3382㎡)。コンピュータを駆使し、多分野の技術を統合した模擬訓練が実施できる施設。野外戦術作戦センターでは、屋外での状況を再現でき、より実践的な戦闘指揮能力訓練が想定されている。使用機材は軍用指揮統制車両が使われ、周囲は防護フェンスで包囲されると言う。最大訓練可能人員は約310名になる。総工費約17億円。

## 日米軍事体制の象徴

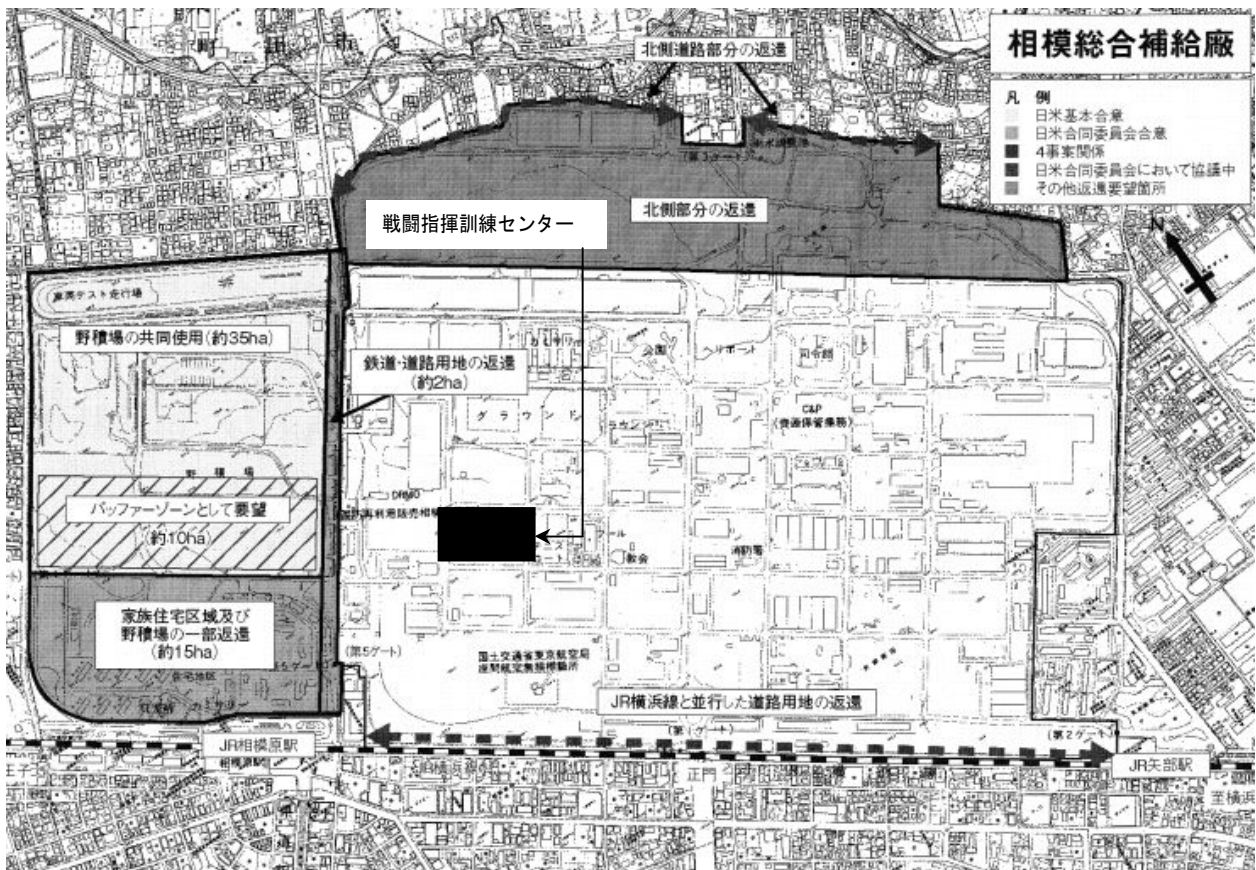
3兆円と言われる米軍再編で、米軍直轄予算で建設させる新施設の訓練センターについて昨年7月4日、「リムピース」が記者会見で訓練センターの概要を資料提供。建設理由として、「第1軍団と陸自の二国間訓練と即応体制の維持のための施設」と米軍の狙いを明らかにした。

着工式のこの日、在日米陸軍の広報室長プロフォード少佐は、毎日新聞のインタビューに次のように答えている。「第1軍団前方司令部と自衛隊の訓練」「あらゆる状況に対応、日米同盟の強さを示す象徴となる」「通常戦争、局地戦、ゲリラ戦などの戦闘訓練」「訓練部隊は中央即応司令部と各方面隊の参加」と先の記者

発表内容を追認している。

陸自との共同使用に市は、国・南関東防衛局に問い合わせるも、「聞いていない」の回答に対応あぐねている格好だ。おめでたいと言う他ない。1982年から開始されてきた「日米共同方面隊指揮所演習(ヤマサクラ)」陸上自衛隊と米陸軍、米海兵隊が共同作戦を実施する想定で双方の幹部が行なう図上演習。昨年は、「中央即応司令部」がある朝霞基地で12月に実施された。

06年4月に、総合幕僚監部を設置。07年1月、防衛省に昇格。07年3月、「中央」即応司令部(朝霞)、08年8月、「中央即応集団」の本隊となる部隊を発足(宇都宮)。自衛隊のイラク派遣をきっかけに日米の恒根は限りなく低くなり始めている(東京05年3月)。「変質する日米共同演習」—米揚陸艦を使い上陸訓練(06年1月23日赤旗)。第一軍団は、最強・最大の規模とされ、ストライカー旅団を有し、陸・海・空などの各軍のうち、二種類以上の軍で構成する総合任務部隊を運用している。海外派兵を常態化する恒久的派兵法が今秋にも上程されようとしている。訓練センターは“戦える軍隊”への改造施設でもある。この日、県央共闘会議の呼びかけに応え、神奈川平和運動センターや市民団体のメンバー約50名が早朝8時30分から抗議行動を繰り広げた。





## 反戦・平和運動を より強固にしよう

### おとし噺県央共闘 好遊亭え圓歌

矢野 亮 (厚木基地を考える会)



県央共闘会議の総会は、今年で10回目だったのは知ってるかい？

おうおう、でもよ、まだまだひよっ子よ。おめえんとこの厚木基地を考える会も20年らしいな。だからって威張るなよ。

別に威張っちゃいない。

まあ、賢いから長生きできるのかもな。厚木基地を考える会などは、県央共闘会議におんぶにだっこで、そのくせいかにも活動しているというようにニュースを出しているじゃねえか。えっ？174号？ふん、それこそ寄生しても生きながらえる知恵ってやつだな。

寄生は言い過ぎだろう。会費は払っているし、事務局にも入っているから。

だからよ、自分だけで運動やってるって顔してちゃいけねえってことを言いたいだよ。会議に出ても、弱小団体なもんで、こんなことを言える立場じゃございませぬが、一言申し上げますならばてな、そういう謙虚な態度でいかなきゃなんねえのさ。

耳が痛いねえ。

でもよ、県央共闘にしる厚木基地を考える会にしる、こうして基地撤去の活動をしていられるのは誰のおかげか知っているか。

ほう誰のおかげだい？

誰ってことはないが今まで、運動をやってきた人たちのおかげなんだよ。

たとえば？

ちっとは自分でものを考えろよ。だから、おまえは料簡が狭いって言われるんだ。どうせ、おまえさん、爆同の鈴木委員長とか3次訴訟の真屋団長とか、そういう人の顔を思い浮かべたんだろう。いや、あの人は立派だよ。でも、それだって、その前に誰かが運動をやっていたからできたんだ。いや、何でもいい、労働組合でも自由民権運動でもいい、百姓一揆でもいい、何の得にもならねえようなことを無償でやり始めるのが人間ってもんか。やってもらえ

りゃ悪い気はしねえ。今度は、おれがやらなきゃって気になるのが人情よ。

へえー、そうやって続いているんで？いや初めて知ったなあ。

話を戻すけどよ、おまえさんだって、ニュースのネタだけじゃなくて、県央共闘にはずいぶん世話になっているだろう。

そりゃあもう、韓国にも2回行けたし、ピースフェスティバルで知ったタレントに、声かけて別のところで出演してもらったり、何より、弱小のつぶれそうな会だけではとてもできないことを企画してくれるんだから、足を向けちゃあ寝られないねえ。

捕まったときも助けてもらったな。

はいはい。

だったらよ、もう少しよ、県央共闘会議だけじゃなくてもいいから、基地撤去につながるようなことを何かしろよ。会員だって減ってるだろ。最近のコラムもおもしろくねえぞ。何にもしてねえからいい記事も書けねえんじゃねえのか。

いやいや、手厳しいね、今日は。虫の居所が悪かったのかね。こんな日に当たっちゃ、運が悪い。

べらぼうめ。運が悪いのは当たりめえだ。何せ、反戦だから吉はいらない。

### 「09 連続講座〈沖縄・歴史と現在〉

#### にご協力を！」

深沢 一夫 (沖縄講座)



ことし2009年は、沖縄にとって節目の年になります。1609年の薩摩・島津氏による琉球侵略から400年、1879年の明治国家による琉球処分から130年にあたるからです。沖縄では本年1月30日に「薩摩の琉球支配から400年日本国の琉球処分130年を問う会」が結成され、活動を始めています。

この〈沖縄からの問い〉をどのように受け止め、日本(ヤマト)からどう応答していくのか。

薩摩による琉球侵攻は、それに先立つ秀吉の朝鮮出兵と連動しており、また、琉球処分は、日本国家による台湾及び朝鮮への帝国主義的侵略へとつながる動きです。1609年と1879年を「問う」ことは、私たちにとって、東アジアにおける日本(ヤマト)の侵略と戦争の歴史を捉え返すことにほかなりません。この歴史的総括の視点と東アジアにおける民衆連帯の視座を手放すことなく、1972年の〈復帰=再併合〉を、そして

日米軍事再編の渦中にある沖縄の〈現在〉を考えたい。  
09 連続講座〈沖縄・歴史と現在〉は、そのような問題意識から企画しました。

[09 連続講座〈沖縄・歴史と現在〉]

第1回 1972〈復帰＝再併合〉を問う 7月11日(土)  
14時 新横浜スペースオルタ

■長編ドキュメント『反国家宣言～非日本列島地図完成のためのノート』(16頁、65分)

■映像の解説と講演 仲里 効さん

・・南大東島生まれ。元『EDGE』編集長。著書に『オキナワ、イメージの縁』、共著に『沖縄の記憶／日本の歴史』『複数の沖縄』編著『沖縄／暴力論』など。

なお、第2回〈沖縄・占領と現在〉は、国際基督教大学の田仲康博さんを講師に、今秋開催予定です。

2月17日の日米外相会談で署名された「在沖米海兵隊グアム移転協定」の国会審議が始まっています。この協定は06年5月の日米「合意」の内容を、条約に準ずるものとして既成事実化するための「米軍再編推進

協定」(琉球新報)です。この背景には、米軍再編の要とされる普天間基地の辺野古沿岸移設＝巨大軍事基地建設の作業が沖縄の人々の粘り強い抵抗で進捗しない事態と自公政権の先行きに対する米オバマ政権の苛立ちがあると推測できます。協定では、これまで「抑止力の維持」とされていたものが「抑止力の強化」と表現され、米軍再編が「地元負担の軽減」どころか日米軍事再編・基地強化に他ならないことを自ら暴露しています。キャンプハンセンで強化される実弾射撃訓練の被害、騒音をまき散らす嘉手納基地へのF22一時配備や、日米共同訓練など、基地強化の動きは顕著になっており、沖縄の人々の怒りを買っています。日米両政府による沖縄の要塞化・軍事属領化の策動を許さず、日米軍事再編・基地強化に反対しよう！グアム移転協定の国会批准を阻止しよう！

沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座  
<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/>

## 負担軽減に相反するグアム移転協定に反対！！

米軍住宅建設に反対する11万人の署名を外務・防衛大臣に提出した翌日の4月8日、衆院外務委員会は2月17日に中曽根外相とクリントン国務長官が取り交わした「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」について、参考人質疑が行なわれ、伊波洋一宜野湾市長と桜井国俊沖縄大学長が反対の立場から意見表明した。辻本清美議員は沖縄の米海兵隊員を8000人グアムに移すとするグアム協定について、沖縄に駐留する部隊実数はどうなるのかと質したのに対し、外務省は「その実数は部隊運用状況に応じて変動する」「8000人が移転して、その後、沖縄に駐留しないのか」と質したのに対し、「可能性は排除できない」と外務省は答えるに至り、まやかしの負担軽減が暴露された。伊波市長は、「米軍再編に合意したにもかかわらず、負担軽減がどのようにつながるのか明らかになっていない。辺野古新基地建設を含めて全て白紙に戻してグアム移転の財政支援も凍結すべき」と主張する。



## 県央共闘会議 第6回幹事会の開催

と き 5月13日(水) 午後6時30分から  
と ころ 大和市生涯学習センター208号室  
ぎ だ い ①第10回定期総会の議案について  
②6.7月行動について  
③その他

### 当 面 の 行 動 予 定

- 04月24日(金) ～28日(火) 第7次韓国・反基地平和ツアー(4泊5日)
- 05月13日(水) 県央共闘会議第6回幹事会(18:30～大和市生涯学習センター208号室)
- 05月23日(土) 県央共闘会議第10回定期総会(13:30～大和市商工会議所大会議室)
- 06月06日(土) 戦闘指揮訓練センター建設反対集会・デモ(予定)(13:30～鹿沼公園)
- 06月22日(月) 第四次訴訟第7回口頭弁論・報告集会(12:30～スタジアム前集合)